

## 24 ゆ り

### 1 試験区ならびに調査対象株数

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)
試験区(1区当り)		20株(12株)	オリエント系1.15㎡(0.69㎡)
			アジアティック系0.64㎡(0.38㎡)
調査対象 (1区当り)	生育調査等	20株(12株)	同上
	収量調査等	20株(12株)	同上

注)標準的な栽植密度(床幅100cm通路60cm) オリエント系 1,736本/a(株間・条間各18cm)

アジアティック系 3,125本/a(株間・条間各14cm)

### 2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
種子系品種	播種期	播種をした日	A	観察	月日	1
	発芽良否	発芽の揃い、発芽勢[良]5~[不良]1	B	観察	指数	1
球根系品種	種球の大きさ	球周	C	測定	cm	1
	催芽処理温度	(冷凍貯蔵球の場合)	B	観察	℃	1
	催芽処理期間	(冷凍貯蔵球の場合)	B	観察	日	1
	芽長	定植時の芽の長さ(同上)	C	測定	cm	1
萌芽期		50%の萌芽を認めた日(秋植え作型の場合)	A	観察	月日	1
定植期		移植または球根を定植した日	A	観察	月日	1
出蕾期		50%の株に出蕾を認めた日	B	観察	月日	1
着色期		50%の株に蕾の着色を認めた日	C	観察	月日	1
採花始		採花数が株数の10%に達した日 <sup>(1)</sup>	A	観察	月日	1
採花期		採花数が株数の50%に達した日	C	観察	月日	1
開花期		50%の株に開花を認めた日 <sup>(2)</sup>	C	観察	月日	1
採花終		最終採花日または採花打ちり日	A	観察	月日	1
平均採花日			C	算出	月日	1
到花日数		定植期から採花期までの日数	B	算出	日	1
障害の種類と発生程度	欠花	落蕾および花飛びの合計	B	観察	個	1
	奇形花	異常花蕾数	B	観察	個	1
	葉焼け	[無]0、[少]1、[中]2、[多]3、[甚]4	B	観察	指数	1
	葉焼け葉数	葉焼けの程度[僅-中-甚]とその葉数	B	観察	枚	1
	葉枯れ	[無]0、[少]1、[中]2、[多]3、[甚]4	B	観察	指数	1
	ウィルス感染株	感染している株の割合	C	観察	%	1

(1)採花適期(切り前)は第二花蕾(花蕾数の30%程度として)の着色を認めたときとする

(2)開花期は採花しない株で調査する

### 3 採花・収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
a当たり	採花数	a当たりの総採花数	A	計算	百本	1
	旬別採花数		B	計算	百本	1
	規格別採花数	全道切花統一規格により分級	B	計算	百本	1
	階級別採花数	切り花長10cm刻みで分級	B	計算	百本	1
株当たり採花数			C	計算	百本	1

4 採花期前後における切り花特性

項 目		調 査 基 準	ランク	調査	単位	最小桁
草姿全体	切花長	茎下端から頂花蕾先端までの自然長	A	測定	cm	1
	切花重	採花時の重さ	A	測定	g	1
	調製重	切り口から20cm(オリエタル)、30cm(アジア)を目安に下葉を取り除いた重さ	A	測定	g	1
	節数	頂花蕾までの節数	B	測定	節	1
	節間長	中間部における節間の長さ	B	測定	cm	0.1
	止葉下節間長	止葉の下一節の長さ	B	測定	cm	0.1
	花蕾数	花蕾の合計数	A	測定	個	1
	花梗長	第一花蕾の花梗の長さ	C	測定	cm	0.1
茎	茎長	茎下端から止葉までの長さ	B	測定	cm	1
	茎径	茎長の上部1/3付近における茎の直径	B	測定	mm	0.1
	茎色	茎長の上部1/3付近における茎の色	C	観察		
	下垂度	水平に支持した場合の枝垂れ程度； [ $\sim 30^\circ$ ]1、[ $45^\circ$ ]2、[ $60^\circ$ ]3	B	測定	指数	1
葉	葉身幅	茎長の上部1/3付近に着生する葉の最大幅	C	測定	cm	0.1
	葉身長	茎長の上部1/3付近に着生する葉の長さ	C	測定	cm	0.1
	葉色	茎長の上部1/3付近に着生する葉の色	C	観察		
花	蕾色	開花直前の蕾の色	C	観察		
	花径	満開花の最大径	B	測定	cm	0.1
	花弁色	可能ならばJHSカラーチャートのコード番号を付記	C	観察		
日持ち性 <sup>(3)</sup>	第一花蕾開花性	[良]3～[不良]1	C	観察	指数	
	採花後の全開花性	[良]3～[不良]1	C	観察	指数	
		第一花蕾開花から全花蕾開花までの日数		測定	日	1

(3)室温(約20℃)において調査する

